

様式8

河川基金助成事業

「多様性のある湿地環境の再生と、子どもたちの
自然体験活動の推進」

助成番号：2020-6113-006

麻機ウェットランドクラブ
代表者 石上恭平

2020 年度

1. 事業概要

1-1. 活動の目的

麻機遊水地において、多様性のある豊かな湿地環境を保全するために、ミズアオイをはじめとした攪乱依存型絶滅危惧植物の再生に取り組む。

また、子どもたちが麻機遊水地の自然に親しんでもらうための観察会、市民への啓発のための観察会を開催し、広く市民にも呼びかけ、この自然を地域の宝として後世に引き継いでいくことを目的とする。

1-2. 活動の経緯

麻機遊水地は、治水工事の過程で湿地環境が再生され、多様な動植物が見られるようになった。中でも湿性植物はタコノアシなど 23 種の絶滅危惧種が確認され、水田表土を埋め戻した場所にはミズアオイの大群落が出現したことから、平成 13 年に環境省の「日本の重要湿地 500」にも選ばれている。

この実態を踏まえ、平成 16 年 1 月に各種民間団体や専門家、遊水地周辺の住民、関係地方公共団体など地域の多様な主体によって構成する「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」を設立、平成 19 年 3 月に「自然再生全体構想」が、平成 20 年 12 月には「自然再生実施計画」が策定される。

その後、静岡市の『麻機遊水地地区ランドデザイン』に基づき、平成 28 年に「麻機遊水地保全活用推進協議会」に移行しました。

麻機ウェットランドクラブは、この協議会の下部組織である自然再生部会で活動しており、この自然再生事業で示された実施計画に従って、将来にわたり安定した「人と生きものの共生」を目指し、人の利用空間、生きものの生息・生育環境、地域との関わりや景観など遊水地の自然環境のあり方について共に考え、またその自然環境を保全・再生および維持管理を共に実施していくものである。

1-3. 活動内容

(1) 活動概要

麻機遊水地第 1 工区と第 3 工区を中心に表 1.1 に示す活動に取り組んだ。

本年度は新型コロナウイルス蔓延の影響もあり、活動やイベントなどの中止や参加人員の制限しなければならない状況もありました。



写真 1.1 活動場所の航空写真

表 1.1 活動概要

攪乱依存種等の湿生植物の保全活動	市民への啓発活動
① ミズアオイ等の攪乱依存種の保全管理活動 ② オニバスの保全管理活動 ③ カヤネズミの生育環境の保全	④ 自然観察会 ⑤ 他団体（市等）のイベント共催

(2) 活動状況

1年間の活動状況

表 1.2 活動状況

	開催日・開催場所	形式	内容	参加人数
1	R2.4.14 (火) スマイルあさはた	会議	① 活動の報告 ② 29年度の活動計画について	5名
2	R2.6.12 (火) スマイルあさはた	会議	① 部会の活動・イベント計画について ② 行政からの連絡事項	7名
3	R2.6.21 (土) 第3工区	作業	① ミズアオイ試験区周辺草刈り	4名
4	R2.7.14 スマイルあさはた	会議	① 活動・イベントの打ち合わせ	5名
5	R2.8.8 (土) 第3工区	作業	① ミズアオイ試験区周辺草刈り作業	5名
6	R2.8.18 (火) スマイルあさはた	会議	① 観察会・学習会の具体的計画 ② 活動の具体的計画	6名
7	R2.8.29 (土) スマイルあさはた	イベント	絶滅しちゃうの あさはたのオニバスお話し会	14名 (20名)
8	R2.9.4 第3工区	立会	① 県土木事務所依頼 外来種駆除立ち合い	4名
9	R2.9.8 スマイルあさはた	会議	イベント打ち合わせ他	4名
10	R2.9.19 (土) 第3工区	作業	① ミズアオイ池周辺草刈り、観察会準備	5名
11	R2.9.29 第3工区	イベント	ミズアオイ観察会	11名 (25名)
12	R2.10.2 第3工区	広報活動	①NHK テレビ取材案内	3名
13	R2.10.13 スマイルあさはた	会議	オニバス保全活動について イベントの打合せ	4名
14	R2.10.21 東部生涯学習センター	イベント	カヤネズミのくらしを学ぼう (第1回)	4名 (20名)
15	R2.10.21 あさはた緑地	作業	① カヤ原付近他草刈り (カヤネズミ学習会準備)	2名
16	R2.11.1 あさはた緑地	イベント	① カヤネズミのくらしを学ぼう (第2回)	6名 (20名)
17	R2.11.10 スマイルあさはた	会議	① 活動報告 ② 活動予定の打ち合わせ、その他	7名
18	R2.11.21 第3工区	作業	① ミズアオイ保全活動、外来植物除去	6名

	開催日・開催場所	形式	内容	参加人数
19	R2. 12. 5 第3工区	イベント	あさはたおさんぼ観察会	5名 (14名)
20	R2. 12. 15 スマイルあさはた	会議	活動報告と学習会打ち合わせ	5名
21	R2. 12. 19 あさはた緑地	作業	カヤ原の刈り取り（カヤネズミ学習会の準備）	4名
22	R3. 1. 12 スマイルあさはた	会議	① 静岡市からあさはた緑地指定管理者のお知らせ ② 活動報告と学習会打ち合わせ	7名
23	R3. 1. 17 あさはた緑地	イベント	カヤネズミのくらしを学ぼう（第3回）	6名 (20名)
24	R3. 2. 9 スマイルあさはた	会議	活動報告と来年度活動計画	4名
25	R3. 2. 20 第2工区	作業	遊水地掘削予定カ所所の表土採取 ふじのくに地球環境史ミュージアムへ運搬	3名
26	R3. 2. 27 ふじのくに地球環境史 ミュージアム	作業	ふじのくに地球環境史ミュージアムの中庭の池 にオニバス・ハスなどの湿生植物を展示する	8名
27	R3. 3. 9 スマイルあさはた	会議	作業活動の報告と今後の取り組み方	3名

※参加人数の（ ）内数値は一般参加者の人数

2. ミズアオイ等の攪乱依存種の保全管理活動

2.1 活動の目的

遊水地工事により埋土種子から蘇った、ミズアオイなどの攪乱依存種を保全する為、耕起（人為的攪乱）し水田環境と同じ状態にして、埋土種子から発芽したミズアオイが生育したのちに、種子の更新をして保全活動を行う。



図 2.1 事業実施箇所

2.2 作業方法

水田と同じように、鍬を使って人力にて耕起（攪乱）し湿地環境を作る。ミズアオイがある程度発芽、生育した後に貴重な植物も残しながら、チクゴスズメノヒエなどの外来種やミズアオイの生育を阻害する植物（ヨシやカンガレイ・カサスゲ・イの仲間など）を除去する作業も継続して行う。

作業写真



写真 2.1 耕起（人為的攪乱）作業



写真 2.2 水田環境と同じように



写真 2.5 作業の合間、水分補給と懇談



写真 2.6 周辺の草刈り作業



写真 2.7 侵入してくるチクゴなど駆除



写真 2.8 女性でも扱いが安全電動草刈り機



写真 2.9 順調に生育したミズアオイの群落



写真 2.10 今年もきれいに花が咲きました



写真 2.11 NHK 静岡の取材を受ける



写真 2.12 NHK 静岡の取材を受ける

2.3 結果

昨年同様に深く耕起することで地力が回復した。夏場の日照りで生育が若干阻害されたが比較的大きな群落が再生されてと思います。相変わらず侵略的外来種の勢いが強く、継続的で地道な草刈りが必要である。NHK静岡で放映されると多くの来場者が散策に訪れていた。

3. オニバスの保安全管理活動

3.1 活動の目的

オニバスは国、県において絶滅危惧Ⅱ類にランクされており、そのオニバスが麻機遊水地第1工区の池にて復活しました。復活したオニバスが今後、植生遷移や土壌の劣化などにより絶滅しないように、遊水地内の他の池にも植生エリアを確保しつつ保全・管理することを目的とする。

池底の土壌が腐食物やヘドロなどの堆積で劣化した池を昨年度、静岡県土木事務所河川改良課が、遊水地の貯留量の確保を目的とした浚渫工事を行い、新たに数株が発芽した。3工区の移植先のオニバスも数株しか再生することができず、今年度危機的な状況でした。近隣の小学校の池に避難し来年度移植を試みる予定です。



図 3.1 オニバス保全活動実施箇所

3.2 作業方法

今年は数株発芽するが、生育することが出来なかつたりして再生することができなかつたので生育状況を観察することが主な作業となった。



写真 3.1 しゅんせつ工事中（昨年度）



写真 3.2 解放水面が多く確保できている



写真 3.3 夏場に数株の発芽が見られた



写真 3.4 近隣小学校の池に一時的非難

3.3 考察

昨年、しゅんせつ工事により池底の土壌は改善されたが、十分な発芽が見られず残念な結果でした。土壌の劣化、水質が原因なのか、カメやコイなどに食べられてしまっているのか原因の特定はできないでいます。しゅんせつが終わり、今年度発芽した個所の推移を観察していくことが課題です。

近隣小学校の池にプラ舟を沈め、土を入れて一時的に避難成育させ、時機を見て里帰りも考えていきます。

4. カヤネズミの生育環境の保全活動

4.1 活動の目的

カヤネズミが生息できる環境を保全することを目的としました。

カヤネズミはヨシ、オギやススキなどの群落する場所に巣を作り生息しています。乾燥に強いセイタカアワダチソウやアレチハナガサなどの侵入があり、植生が偏移する傾向が見られます。又オギなどがそのまま放置すると劣化し葉の数も少なくなり営巣が困難になることが考えられます。そこで、カヤ原を刈り払い新しいカヤを生育していく必要があります。

4.2 活動方法

カヤ原を草刈り機や乗用草刈り機を使って刈り取り集草して、新たなオギやススキなどを生育しやすくする。集草して処分する必要があります。他の場所においても管理者にお願いして、刈り取る時期などをアドバイスしています。



写真 4.1 エンジン式7・電動草刈り機で刈取り



写真 4.2 カヤネズミの古い巣が5個見つかる



写真 4.3 乗用式草刈り機も運転



写真 4.4 乗用式できれいに刈取り

4.3 考察

カヤを刈り取る時期はカヤネズミの繁殖期を避け、逃げ場を作ることが必要だと考えます。カヤの成長過程で、再度刈り取る必要が生ずる場合を考え、その時期を6月ころとする。

河川管理者の草刈り業務についても刈取る時期などを話し合っていく必要があります。

5. 静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアムで麻機遊水地の植物を展示紹介

5.1 活動の目的

啓発活動の一環として、麻機遊水地の植物をミュージアム（博物館）の中庭にある池にプランターに移植し、現物を展示することにより広く市民に麻機遊水地の魅力を視覚的に伝える。この活動は6年間継続しています。

5.2 作業方法

掘削工事中の麻機遊水地2工区の土を採取して現在ミュージアムの池にあるプランターに新たに土を補いプランターにある植物を植え替える作業行います。

新しい土は静岡土木事務所の許可を得て、麻機遊水地の掘削工事をしている田んぼの表土を採取し、ふじのくに地球環境史ミュージアムへ運んだ。

展示用植物は、ミズアオイ・タコノアシ・オモダカ・コツブヌマハリイ・カンガレイ・サンカクイ・ヒメガマ・コガマ、・ガマ・オニバス・ハス（レンコン）などの湿生植物です。

土の採取・植物の採取と運搬



写真 5.1 遊水地工事個所の表土を採取



写真 5.2 表土を 20 袋、運搬

ミュージアム中池で土の補充と植え替え作業



写真 5.3 池のプラ船を引き上げ



写真 5.4 土の攪乱と補充



写真 5.5 掘り返したレンコン



写真 5.6 プランターに肥料を投入



写真 5.7 他のプランターも攪乱と補充



写真 5.8 作業終了し清掃完了

5.3 考察

ふじのくに地球環境史ミュージアムで麻機遊水地の植物を展示し、来場者の方にサポーターから説明をしていただいたことで、市民の皆様が麻機遊水地へ足を運んでいただいたと考えています。現物の植物を展示することで、麻機遊水地の豊かな自然の一端を知っていただき、興味を持ってくれるとありがたいと思います。今後もミュージアムの先生方との連携も発展させていきたいと思っています。

6. 学習会

6.1 活動の目的

私たちのスキルアップを図るため、他の活動の見学や交流を目的としましたが、新型コロナウイルスの影響もあり止む無く中止しました。

6.2. 火入れ実験

麻機遊水地活用推進協議会が主催する事業で、効果的・効率的な植生管理手法の確立のため、冬季の枯れヨシ焼きを行い、その効果を検証する目的で行われる予定でしたが。火入れの指導をしていただく西廣淳先生(国立環境研究所)が新型コロナウイルスの影響で関東から静岡に来ることが出来ずに中止となりました。

7. 市民への啓発活動・環境学習

7.1 活動の目的

啓蒙活動・環境学習は、麻機遊水地の貴重な自然や地域に伝わる伝説、子どもたちに自然とのふれあいの楽しさを知ってもらうことを目的として開催する。併せて遊水地での活動を広く市民の方々に理解してもらうことも目的とします。

7.2 オニバス観察会

『麻機のオニバスお話し会』

開催日 : 令和2年8月29日(土) 9:30~11:00

開催場所 : スマイルあさはた 2階音楽室(座学と紙芝居) 麻機小学校校庭

参加者 : 応募による参加者 20名 講師5名 スタッフ6名 行政(市)3名 計34名

内容 : オニバスについての座学のみとしました。新型コロナウイルスの影響で募集は20名とした。

オニバスの生育が悪く遊水地での観察が出来ず、校庭でプラ舟による展示とした。

- ・『オニバスってどんな植物?』 講師 竹内佐枝子 先生
オニバスの生育環境・生育型についてお話をいただきました。オニバスの生態や形態を知る意味でもハスと比較して花や茎、種子などの違いを詳しく教えてくれました。
- ・『オニバスと人との関り』 講師 栗山由佳子 先生
麻機の伝説「沼の婆さん」に登場し、飢饉のときに村人を救ったオニバスの話やオニバスの種が富士講にも使われた文献も紹介しました。オニバスが「法器草」と呼ばれる由来も説明していただきました。
- ・紙芝居『沼のばあさん』 演者 清 尚子 様(お話しはらっぱの会の皆様)
麻機に伝わる伝説『沼のばあさん』の紙芝居を上演した。
孫娘を沼に引きずり込み殺してしまったカップをおばあさんが退治した後、飢饉のときに、オニバスが生えて村人を飢えから救ったお話(さわり)



写真 7.2.1 会場となったスマイルあさはた



写真 7.2.2 受付で検温と消毒



写真 7.2.3 コロナ対策のお願いとあいさつ



写真 7.2.4 行政による公園の説明



写真 7.2.5 オニバス生態の話



写真 7.2.6 オニバスが登場する駿河風土記の話



写真 7.2.7 伝説「沼のぼあさん」の紙芝居



写真 7.2.8 展示品の説明

校庭にてオニバスの現物を観察会

今年は遊水地での生育が不良のため麻機小学校の校庭での観察となった。



写真 7.2.9 プラ舟に移植したオニバスの展示



写真 7.2.10 プラ舟に移植したオニバスの展示

考察

静岡市緑地政策課さんの協力もいただき、市民の皆様に参加していただきました。

新型コロナウイルスの影響があり、定員を減らし、手指の消毒、検温、マスクの着用をお願いし、間隔をとっての開催となりました。コロナが早く終息することを祈るばかりです。

7.3 ミズアオイ観察会

— 麻機遊水地の豊かな自然の中をゆっくり歩きませんか！ —

開催日：令和元年9月26日（土） 9：30～11：00

参加者：応募による参加者25名 スタッフ11名 計36名

開催場所：観察会は麻機遊水地第3工区

観察会の内容

初秋の麻機遊水地（3工区）を歩きながら、希少植物・外来植物などを観察し、ミズアオイやサクラタデなどの保全活動の成果を見てもらう。観察指導員やスタッフと一緒に歩いて、質問しながら楽しく過ごす。コロナ対策の一環として、参加者を3グループに分けてソーシャルディスタンスを取りつつ散策とした。



写真 7.3.1 観察会場受付と河川財団ロゴ



写真 7.3.2 受付時に体温測定・消毒



写真 7.3.3 3班に分かれて観察会



写真 7.3.4 指導員による植生説明



写真 7.3.5 観察しながら歩きます



写真 7.3.6 ミズアオイの質問



写真 7.3.7 子供にもわかるようにお話し



写真 7.3.8 サクラタデの観察



写真 7.3.9 花と昆虫を見つけたよ



写真 7.3.10 ミズアオイの花を観察撮影

考察

毎年、ミズアオイ観察会は天気恵まれることが少ないが、この日も早朝の小雨が残りあいにくの天気でしたが、しばらくすると雨も上がり無事に観察会を行うことが出来ました。参加者の皆さんは雨具を持参していただき感謝です。

静岡新聞やNHK 静岡などマスコミで紹介され、観察会の後も散策する人が多くみられ、遊水地での活動を知っていただく機会となりました。

7.4 カヤネズミのくらしを学ぼう！〈全3回〉

本事業は静岡東部生涯学習センターと麻機ウェットランドクラブの共同開催として行われました。

第1回 どんなくらしをしているの？

開催日：令和2年10月18日（日） 10：00～11：30

開催場所：東部生涯学習センター

内容：どんなくらしをしているの？ カヤネズミの気持ちになっくらしを体験しながら学ぼう

参加者：20名 スタッフ4名 計24名

カヤネズミの特徴をわかりやすくお話しした後、紙芝居「カヤネズミのおかあさん」の読み聞かせしました。最後に蛇やモズなどの天敵から逃げて、えさを取るゲームで生き残る大変さを学びました。



写真 7.4.1 カヤネズミの住処や天敵を学ぶ



写真 7.4.2 紙芝居を読み聞かせ

第2回 カヤネズミの巣を見にいこう！

開催日：令和2年11月1日（日） 10：00～11：30

開催場所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

内容：麻機遊水地で巣を探しながらカヤネズミのくらす環境を学ぼう

参加者：20名 スタッフ6名 計26名

麻機遊水地1工区のあさはた緑地駐車場に集合した。受付時に手指の消毒、非接触体温計で体温チェック。前回学んだことの振り返りをして、カヤネズミの巣を探しに出発です。カヤ原での注意や、カヤネズミを驚かさないように静かに観察することなどの話をしました。



写真 7.4.3 カヤネズミの特徴おさらい



写真 7.4.4 歩きながら巣を見つけよう



写真 7.4.5 カヤ原で生息環境を体感



写真 7.4.6 カヤネズミの巣を見つけました

第3回 みんなでカヤネズミを守ろう！

開催日：令和3年 1月18日（日） 10:00～11:30

開催場所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

内容：カヤ原を守る活動に参加して集めた草で巣を作ってみよう

参加者：20名 スタッフ6名 計26名

事前に刈り取りしてあるカヤ原で、オギの集草作業を行いました。集めたオギを使って、カヤネズミの気持ちになって巣作りをして楽しみました。3回出席した子供たちには『カヤネズミ博士』の認定証とカヤネズミ写真入りのフォトキーホルダーを授与しました。



写真 7.4.7 目印の黄色の旗に集合



写真 7.4.8 刈取ったカヤをみんなで集めた



写真 7.4.9 親子でレーキを使って草集め



写真 7.4.10 集めた草でおうちを作る



写真 7. 4. 11 できた家をみんなで見てみよう



写真 7. 4. 12 最後にカヤネズミ博士の授与

7.5 おさんぽ観察会スペシャル

—麻機遊水地を歩きながら、自然観察♪リース作りをしましょう—

開催日 : 令和2年12月5日(土) 10:00~12:00

開催場所 : 麻機遊水地3工区

内容 : 初冬の麻機遊水地を歩いて自然観察しながら、木の実や草の実を集め楽しくリース作りをしました。たくさん集めて家でゆっくりと作る参加者もいました。

参加者 : 23名 スタッフ7名 計30名

寒い朝でしたが沢山参加してくれて楽しいリース作りができました。



写真 7. 5. 1 会場受付



写真 7. 5. 2 河川財団のロゴ



写真 7. 5. 3 挨拶や注意事項の話



写真 7. 5. 4 リースの作り方説明



写真 7. 5. 5 歩きながらリースの材料集め



写真 7. 5. 6 素敵なリースができました

7.6 産業フェア しずおか 2019 出展（イベント）

新型コロナウイルスの影響により、出展を見合わせた。

7.7 遊水地フェスタに参加

新型コロナウイルスの影響により、中止された。

7.8 サイエンスピクニックに参加

昨年も新型コロナウイルスの蔓延により主催者から中止の連絡がありましたが、今年度も新型コロナウイルスの影響により、出展を見合わせた。

7.9 遊水桜まつりに参加

遊水地周辺で自治会連合会主催の「遊水桜まつり」が開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの蔓延の為、中止となり出展できませんでした。

7.10 活動の効果等

今年度はコロナウイルス蔓延の影響もあり制約のある中での活動、イベント開催になりました。ウェットランドクラブ主催で開催した3つの主なイベントでは、合計60名の一般参加者により開催することができ、麻機遊水地の自然の魅力やウェットランドクラブの取り組み内容を多少でも広めることができました。

当会主催のイベントや会議などで新型コロナウイルスに感染した連絡はありませんでした、マスク着用や手指の消毒など、協力いただいた皆様に感謝します。

数は少ないが子ども向けの観察会では、子どもたちが自然で楽しむことで、麻機遊水地の自然環境に興味を持ってもらえ、子どもたちへの環境教育ができたと考える。

他のイベントも中止になったり、規模が縮小になったりしたことで、思うように、麻機遊水地の魅力を伝えることができなかつたと考えます。

早期に新型コロナウイルスの影響がなくなり、普通に活動出来ることを待っています。

今後も、この活動を継続させるとともに、部会員のスキルアップや新規活動の応援団を募集し、新たな活動にも取り組んでいきたい。

8. 添付資料等

8.1 イベントのチラシ

8.1.1 麻機のオニバスお話し会

絶滅しちゃうの!?

あさはた

麻機のオニバスお話し会

2年前には、直径約2mの大きな葉が水面いっぱいに広がっていたのに・・・
今年は今にも消え入りそうな数株だけ。いったい遊水地で何が起きているのでしょうか？!



令和2年8月29日(土) 9:30~11:00

集合場所: スマイルあさはた 2階音楽室(静岡市葵区有永421-1)

定員: 20名程度(申し込み順) ※小学生以下は保護者同伴をお願いします。参加無料

申込み: 静岡市緑地政策課 TEL 054-221-1251・FAX 054-221-1294

—プログラム—

- ・お話し「オニバスってどんな植物?」「オニバスと人との関わり」「なぜ、絶滅しそうなの?」
- ・紙芝居「沼のばあさん」
- ・展示「オニバスの魅力」

※今年は現地のオニバスの生育が悪いので、写真とプラ舟で栽培しているオニバスを見ていただきます。

※コロナウィルスの対策としてマスク着用での参加をお願いします。

主催: 麻機ウエットランドクラブ

〈麻機遊水地保全活用推進協議会〉

協力: 静岡市緑地政策課



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

関連イベント紹介

8月16日(日) オニバスの観察とスタンプ染 ふじのくに地球環境史ミュージアム主催

9月26日(土) ミズアオイ観察会 麻機ウエットランドクラブ主催

10月18日(日)・11月1日(日)・1月17日(日) カヤネズミ講座 東部生涯学習センター・麻機ウエットランドクラブ共催



ミズアオイ観察会

遊水地ならではの植物を観察しながら、夏から秋へと移り変わりつつある湿地の自然の中を歩いてみませんか？

麻機遊水地には、多くの湿生植物が自生しています。
ミズアオイの群落は9月に入って花が咲き始め、タデなどもかわいい花を見せてくれます。



サクラタデ



ミズアオイの群落



日時：令和2年9月26日(土) 9:30~11:00頃

場所：麻機遊水地第3工区

対象：どなたでも

定員：20名程度 申込順 参加費無料

持ち物：飲み物・帽子・長靴(あれば) 服装は長袖、長ズボン
時節柄、**マスク着用・ソーシャルディスタンス**での観察会となります。

問合せ・申込み：静岡市緑地政策課 TEL:054-221-1251 受付時間
Fax: 054-221-1294 (平日8:30~17:15)
昭和設計(株) TEL:054-248-5284 担当：山梨、小野

※小雨の場合は決行します。

※お車でお越しの際は、麻機遊水地第3工区北側の臨時駐車へ直接お越しください。

主催：麻機ウェットランドクラブ <麻機遊水地保全活用推進協議会>

協力：静岡市 都市局 都市計画部 緑地政策課

※今回収集した個人情報は、本観察会申込者の管理事務及び今後の観察会等のご案内に使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

いて
接、
21-
Pな

毎週
1回)

市し
水区
/18
抽選

静岡 県摂食障害フォーラム 専門家と当事者からのメッセージ

時 10/17(土)、13:30～15:30

所 パルシェ7階(葵区黒金町)

内 専門医による摂食障害についての講演・意見交換会

人 50人(無料)

問 申込方法などは、県摂食障害治療支援センター ☎053-435-2295へ(9:00～15:30)

担 ところの健康センター ☎262-3011

希 少植物を観察しよう! 初秋のミズアオイ観察会

時 9/26(土)、9:30～11:00

所 麻機遊水地第3工区(葵区諏訪)

人 20人(無料)

申 電話で、緑地政策課 ☎221-1251へ

[9/1(火)～・申込順]



会HPをこ

初心シ

時 10/1

19:30(全

所 西ヶ谷

内 野球の

の習得・向

人 小学4

申 電話が

1900へ[

ゴルフ

時 ①9/1

所 有度山

内 ①グラ

人 18歳以

費 各400

運動施設

費持参・申

令和2年度 麻機ウエットランドクラブ×東部生涯学習センター共催事業

カヤネズミの くらしを学ぼう！



第1回

10/18(日)

どんなくらしをしているの？
カヤネズミの気持ちになって、
カヤネズミのくらしを体験
しながら学んでみよう

第2回

11/1(日)

カヤネズミの巣を探しにいこう！
麻機遊水地でカヤネズミの巣を
探しながら、カヤネズミのくら
しについて考えてみよう

第3回

1/17(日)

みんなでカヤネズミを守ろう！
麻機遊水地でカヤネズミのくらし
を体験し、カヤネズミの住む環境
と保全について学んでみよう

日時 10/18(日)、11/1(日)、R3/1/17(日) 10:00~11:30

第1回 東部生涯学習センター 3階 ホール

場所 第2・3回 あさはた緑地(葵区赤松2-1) ※現地集合・解散
※雨天の場合、順延日は、第2回 11/8(日)、第3回 R3/1/24(日)

講師 第1回 山根 真智子(ふじのくに地球環境史ミュージアム インタープリター)
第2・3回 栗山 由佳子(麻機ウエットランドクラブ)

対象 小学生10人(保護者同伴)

参加費 1人200円(全3回分)

持ち物 筆記用具、水分補給用の水筒

申込方法 9/12(土)10:00 受付開始
電話で東部生涯学習センターへお申し込みください。(申込順)

静岡市東部生涯学習センター

指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団

〒420-0803 静岡市葵区千代田七丁目8-15

電話:054-263-0338

(月曜・祝日休館) <https://sgc.shizuokacity.jp/>



カヤネズミ *Micromys minutus* (萱鼠)

日本でいちばん小さなネズミです。
一生を草むらですごし、人家に上がりこむことはありません。
河川敷や休耕田などの、背の高いイネ科の植物(カヤ)が生えている
場所を好みますが、最近はカヤ原が少なくなってしまったため、絶滅が
心配されています。



静岡県レッドリスト:準絶滅危惧 (NT)

現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に
移行する可能性のある種

共催団体 麻機ウエットランドクラブ

ウエットランドとは湿地のことです。私たちは、麻機の3つの水環境を代表するオニバス(池)・
ミズアオイ(湿地)・カヤネズミ(湿原)を指標に、それらがこれからもずっと生息できるような環境
を残すことを目指して活動しています。

静岡市の麻機遊水地を中心に、湿地で絶滅が心配されている動植物を守るための野良仕事や
自然を楽しむ観察会、工作・お話し会などを行っています。

おもな活動

- 月1回の定例作業(草刈りなど野良仕事)
- ふじのくに地球環境史ミュージアムの中庭池管理作業
- お散歩観察会(ハス観会、リース作り、七草摘みなど その時に応じて不定期開催)
- 定例観察会 オニバス(8月)・ミズアオイ(9月)・カヤネズミ(10月)



新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 講座にご参加いただく際にはマスクの着用をお願いいたします。
- ② 講座実施日から過去2週間において以下の事項に一つでも該当する場合は参加をご遠慮ください。
 - (1) 37.5度以上の発熱または平熱より1度以上高い場合
 - (2) 息苦しさ・強いだるさ、咳・のどの痛みなどの症状がある場合
 - (3) 新型コロナウイルス感染症陽性と判明された方との濃厚接触
 - (4) 感染が疑われる同居家族や身近な知人の有無
 - (5) 海外や感染が引き続き拡大している地域への訪問歴・当該国・地域在住者との濃厚接触
- ③ 感染者が発生した場合等、必要に応じて保健所等の公共機関へ氏名、連絡先等を提供することがあります。

8.1.6 あさはたおさんぽ観察会 チラシ

あさはたおさんぽ観察会

麻機遊水地を歩きながら自然観察&リース作りをしましょう！

2020年12月5日(土) 10:00~12:00

(雨天中止)

会費：200円

対象：どなたでも15人

集合場所：静岡てんかん・神経医療センター前

申込先：竹内(090-5107-8300)・栗山(090-7604-9364)

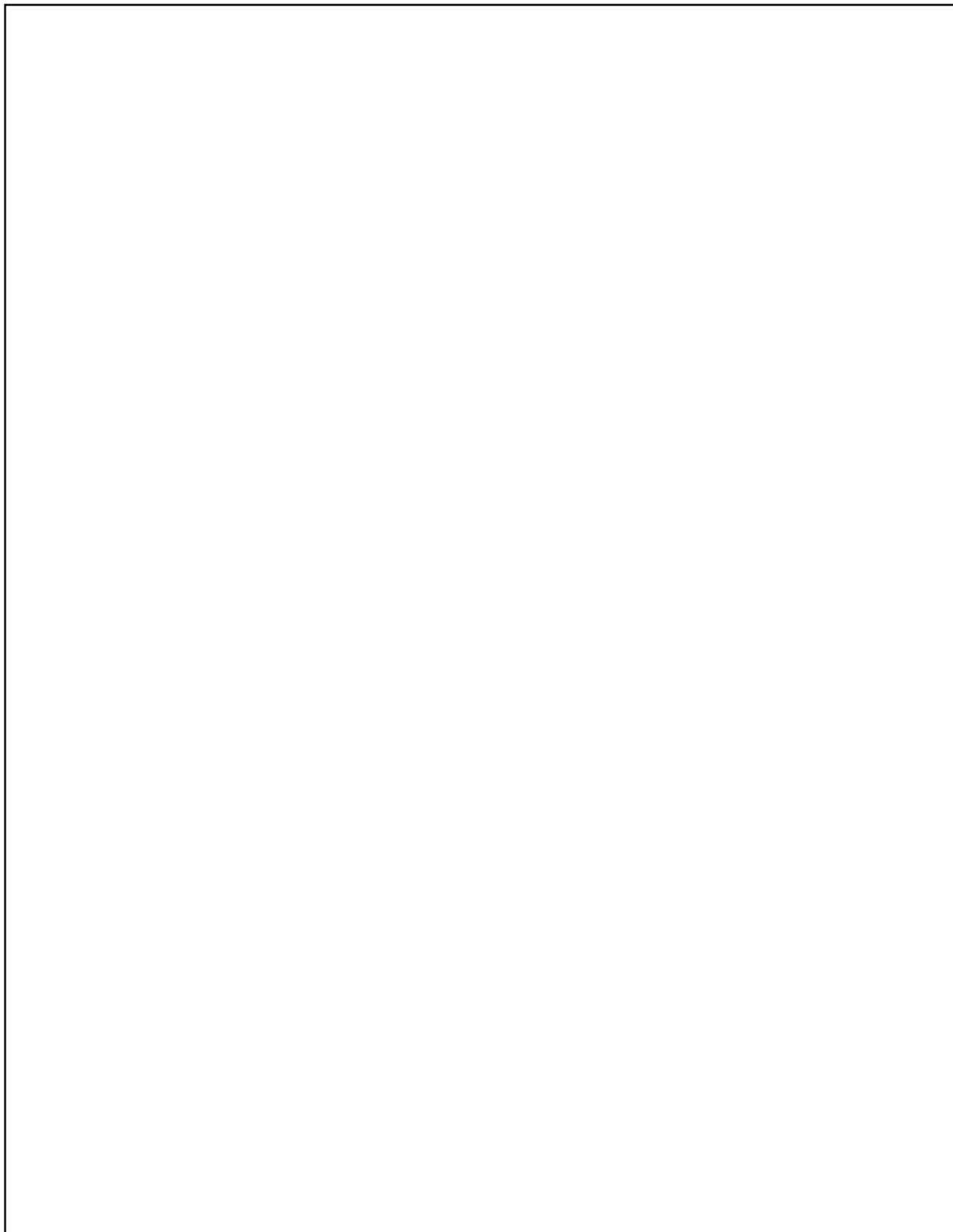
主催：麻機ウエットランドクラブ



持ち物：マスク、剪定ばさみ、軍手、飲み物、リースを持ち帰る袋
*お天気があやしい時は、当日8時頃電話で連絡します。

8.2.4 報道関係資料

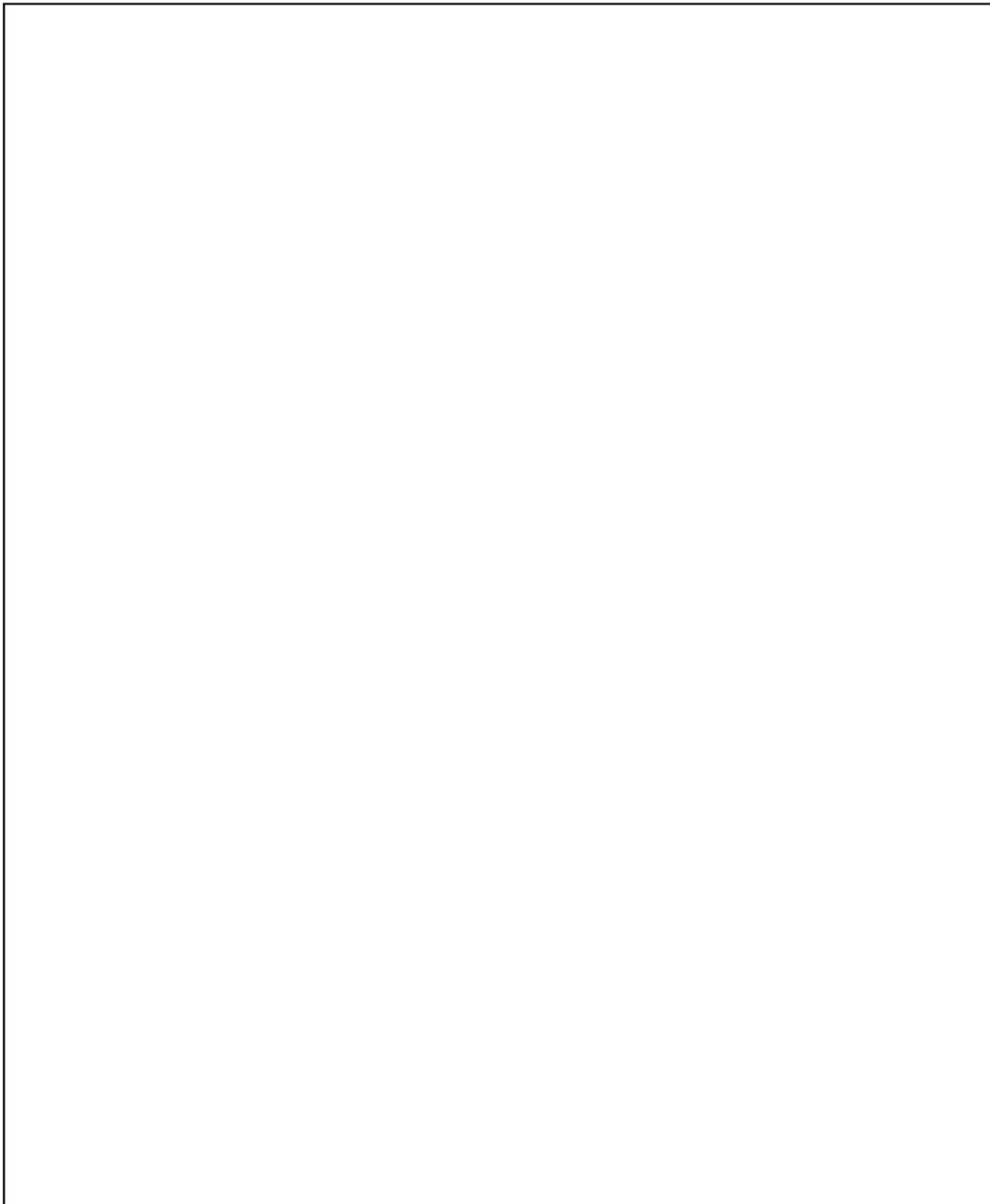
8.2.1 ミズアオイ観察会 静岡新聞掲載



8.1.5 NHK静岡取材と放映



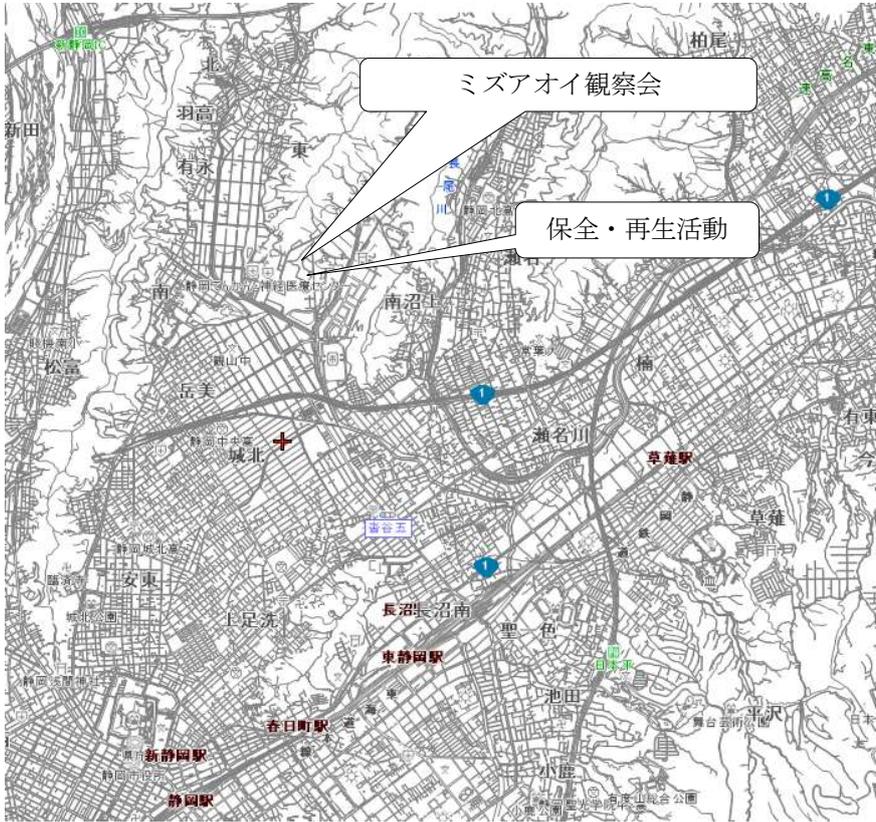
8.1.6 カヤネズミのくらしを学ぼう！に関連した記事を静岡新聞に掲載された



様式 1 1

3.川づくり団体部門

[実施箇所位置図]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名	
2020-6113-006	多様性のある湿地環境の再生と子供たちの自然体験活動の推進	麻機ウェットランドクラブ 代表 石上恭平	
	主な実施箇所 麻機遊水地第3工区		
助成事業の主な実施箇所			
河川基金ロゴ等表示状況写真	遠景	近景	
			
延べ参加人数	一般	名 スタッフ・事務局	名
マスコミの反響	静岡新聞の取材を受け掲載された 事前にNHK静岡放送の取材があり夕方の地方番組「みーつけた」で放送される		